

I 学校経営計画

1 教育目標

児童生徒の障害の状況及び特性に基づいた教育を行い、将来の自立をめざして一人一人の生きる力を伸ばし、自分らしく心豊かに生きていこうとする人間を育てる。

2 教育方針

- (1) 児童生徒一人一人の障害特性とニーズに基づいた教育を実践する。
- (2) 個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいたきめ細かな指導を図る。
- (3) 医療・福祉機関等と連携し、安全・安心な学校づくりをめざす。
- (4) 地域の企業・労働機関等と連携した進路開拓に努め、進路指導の充実を図る。
- (5) 地域の特別支援教育センターとして、相談支援機能の充実に努める。

3 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 肢体不自由、知的障害に対応する特別支援学校として、優れた施設設備を有効に活用した質の高いきめ細かな特別支援教育を実践している。
- ② 児童生徒の将来の生活に必要な資質・能力を育成するため、学習指導要領を踏まえた個別の教育支援計画の具現化を図り、授業改善と授業実践力の向上に努めている。
- ③ 児童生徒の障害特性に配慮した指導・支援を行うとともに、保護者・医療機関等と連携して安全・安心な学校づくりに取り組んでいる。
- ④ 児童生徒の発達段階を踏まえたキャリア教育の推進、進路指導体制の充実と職業教育の実践に取り組み、生徒や保護者のニーズに応じた進路実現をめざしている。
- ⑤ 複数の障害種に対応する専門性及び地域の相談支援機能の向上に努めている。

(2) 児童生徒に関する中・長期的目標

- ① 健康・体力の保持増進に努め、生き生きと生活する児童生徒
- ② 将来への夢と希望を抱き、目標に向かって挑戦する児童生徒
- ③ 基礎・基本の力を身につけ、学びの意欲、向上心をもつ児童生徒
- ④ 自らの意思を明確にし、主体的に行動する力と働く意欲を身につけた児童生徒

(3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

- ① 児童生徒一人一人の夢を育み、その可能性に挑戦する学校組織
- ② 社会情勢の変化と学校の現状を把握し、危機管理体制を確立する学校組織
- ③ 特別支援教育の使命と責任を自覚し、専門性と指導力の向上に取り組む教職員
- ④ 課題意識と向上心を持ち、自らが考え行動する教職員
- ⑤ 校務分掌等の業務内容と課題を把握し、自らが改善・工夫に努める教職員

4 今年度の重点目標

- (1) 授業実践力の向上（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり、1人1台タブレット端末の活用）
- (2) 小から高までのつながりのある教育活動の推進（キャリア教育の推進、学部間の連携）
- (3) インクルーシブ教育の実現（地域・関係機関・保護者との連携、全県への情報発信）
- (4) 働き方改革の推進（ICT化による効率的な業務改善、業務内容の平準化の推進）